

目 次

特 別 講 演	頁
アメリカにおける病害虫防除の方向	熊 沢 隆 義 1
一 般 講 演	
病 害 の 部	
イネ白葉枯病防除薬剤の探索	脇 本 哲 3
イネこうじ病菌の幼芽接種と感染時期の一考察	吉 野 正 義 4
イネ馬鹿苗病種子消毒集団防除効果	原田敏男・加藤米司・黒岩 匡 5
イネ苗立枯病の防除について	杉 本 堯 6
イネ2品種の異なる部位から分離したいもち病菌の病原性	下山守人・遠藤忠光 7
稲いもち病のワクチン療法に関する研究	
第14報 各種植物ワクチンが稲の種子から葉や穂首に移動するか	渡 辺 竜 雄 8
水銀粉剤散布における金属水銀量といもち病防除効果との関係	近藤 租・下山守人・長崎昭典 9
プラエスの薬害と収量との関係	下山守人・近藤 租 10
イネ紋枯病の薬剤防除について	安 正 純・吉野正義・須賀秀文・相馬 茂 11
ヘリコプタによる稲紋枯病の防除	伊藤泰次・沼田 巖 12
イネ紋枯病およびいもち病に対する同時防除薬剤の効果	黒岩 匡・山岸義雄 13
ヘリコプタによる穂いもち病とツマグロヨコバイ同時防除のための液剤散布効果	
	関谷一郎・柳 武・原田敏男・高橋幸雄・岩崎鬼八 14
稲黄萎病の感染時期について	小森 昇・岩本静之・高野誠義 15
長野県松本平におけるイネ黄萎病のヘリコパタによる集団防除——防除効果の概要について	
	中村知義・林 清道・宮沢俊治・柳 武 16
長野県松本平におけるイネ黄萎病のヘリコパタによる集団防除——実施結果の問題点について	
	林 清道・宮沢俊治・中村知義・柳 武 17
長野県埴科地方におけるイネウイルス病のヘリコパタによる集団防除	久 保 田 溱 18
イネ萎縮病の発生と栽植様式との関係	安尾 俊・石井正義 19
水稲田植時期と縞葉枯病発生との関係	小 針 幸 省 20
イネ縞葉枯病に対する品種抵抗性に関する研究 IV. ヒメトビウンカの孵化幼虫数および幼虫生育におよぼす品種の影響	安尾 俊・山口富夫 21
ムギすじ萎縮病異常発生についての一考察	小 菅 喜 久 弥 22
播種期とトウモロコシすじ萎縮病の発病との関係ならびにサイメット処理による防除効果について	
	塚田益夫・深町 亘・浅川登美男・酒井金一郎 23
サツマイモの縮葉モザイク病耐病性の品種間差	森 寛一・池上雅春・山田信儀 24
前作物とビート根腐病 (crown rot) 発生との関係	原田敏男・黒岩 匡・清沢一政・下山守人 25
コンニャクの糸葉症状株からの CMV の分離	小 室 康 雄 26
コンニャク乾腐病防除に関する研究	矢内万平・青柳寅雄 27
各種薬剤によるコンニャク腐敗病・葉枯病防除試験	高野誠義・祝迫親志 28
ビニール寒冷沙被覆による抑制トマトのウイルス病防除について	渡 辺 正 信 29
トマト葉かび病の防除	阿部善三郎・飯島 勉・平野寿一・本橋精一 30
消石灰全層植溝施用によるトマト萎ちよう病の防除	増 尾 清 31
殺線虫剤の使用とトマト萎ちよう病発生との関係 (予報)	保 坂 義 行 32
十字花科根こぶ病に対する PCNB 粉剤と消石灰の併用効果	尾 沢 賢・高野利康 33
白菜軟腐病に関する 2, 3 の試験	祝迫親志・高野誠義・小森 昇・今内 稔・谷 芳明 34
日光戦場ヶ原のダイコン萎黄病防除について	松村源司・高橋三郎・杉本 堯・瓦井 豊・富永時任 35
ダイセー A-40 の子苗立枯病防除効果	渡 辺 哲 郎 36
埼玉県におけるネギ黒腐菌核病の発生	吉野正義・安 正 純・須賀秀文・飯島文夫 37
タマネギ萎縮病ウイルスの物理的性質と寄主範囲	吉野正義・安 正 純 38
標高によるリンゴ斑点性落葉病の被害差について	有馬 博・須藤山路 39
ナシ園におけるスピードスプレー散布について	
1. 霧粒の到達性試験	湯浅利光・渡辺哲郎・市原伊助 40

ナシ園におけるスピードスプレーヤ散布について	
2. 葉液の付着量に関する試験	渡辺哲郎・湯浅利光 41
花き類ボトリチス病の防除について	横浜正彦・菅田重雄・新井 茂 42
ガラス室冷房装置の試作	森 寛一・池上雍春・山田信儀 43
害 虫 の 部	
ニカメイチュウ1化期発生量と2化期発生量との関係について	田川憲夫・早河広美 44
稲刈取時期とニカメイチュウ1化期の発蛾型について	高野十吾・高野誠義・吾崎喜之助 45
ニカメイチュウ1化期に対するスミチオンの防除効果	中村文男・早河広美 46
ニカメイチュウに対する水面施用剤(ガンマードル)の効果について	清水節夫・林 清道・下岡正志・久保田添・山岸義男 47
水稻害虫に対するBHC入り肥料の効果について	柴本 精・早河広美 48
水田に施用した γ -BHCの行動	石井象二郎・平野千里 49
灌注剤(水面施用剤)に関する研究(第7報)一主としてドルの施用方法について	熊野義夫・都築 詢・前川定文・渋谷正弘 50
ニカメイチュウ2化期に対するパイジツトの防除効果	高野光之丞・石川元一・村上正雄 51
長野県におけるイネカラバエの生態調査(その1)	早河広美・岸野賢一 52
イネキンウワバの生態について(第1報)	岩本静之・高野誠義 53
イネウイルス病を媒介するヒメトビウンカの発生消長とその集団防除	柳 武・関谷一郎・池田義久・松本 陸 54
ツマグロヨコバイ幼虫の脱皮時におけるの植物組織内への口針そう入状態	内 藤 篤 55
秋期水田に棲息するクモ類についての2,3の観察	三田久男・南部敏明 56
菜種アブラムシに対する各種殺虫剤の効果及び残効試験	和泉清久・熊坂基弘 57
茨城県におけるナカジロシタバの発生について	高 野 誠 義 58
長野県伊那地方におけるコウモリガの異常発生について	飯塚茂治・高橋保雄 59
コウモリガに関する2,3の知見	石井賢二・保坂徳五郎 60
リンゴのハマキムシの発生について	関谷 育・伊藤喜隆・広瀬健吉 61
ナシノカワムグリガに関する研究(第2報)	木暮幹夫・中条忠久 62
ヘリコプターによるキンモンホソガの集団防除効果	池田義久・尾崎 誠・関谷頼一 63
有機燐殺虫剤抵抗性ハダニに対するエラジトンの効果について	黒沢三樹男・荒堀 浩・下松明雄 64
罐桃の無袋栽培と病害虫防除Ⅲ	宮下忠博・知久武彦 65
水溶タリウムの野鼠駆除試験成績	市川久雄・宮入芳明 66
いちじく畑におけるネコブセンチュウの分布	湯浅利光・大野敏郎・小倉政衛・高浜健三 67
ネコブセンチュウに対する殺線虫剤の殺卵効果と土壌温度との関係試験	近岡一郎・和泉清久 68
殺線虫剤施用前の畑状態と処理後における鎮圧効果について	呉羽好三・柴本 精 69
ダイズシストセンチュウに対する殺線虫剤の施用時期について	吉沢中夫・塩沢淳一 70
オカボシストセンチュウに関する研究(第2報)薬剤施用による線虫の繁殖ならびに陸稲の生育に及ぼす影響	谷中清八・尾田啓一・星野三男・滝田泰章・熊沢隆義 71
イネネセンチュウの分布調査	気賀沢和男・川島嘉内 72
稲線虫心枯病防除に関する研究(第4報)	五味美知男・中里肇二 73
こぼろの黒変症状(ヤケ)とその防除について	伊藤喜隆・広瀬健吉 74
千葉県における植物寄生線虫の種類と分布(1961年までの調査結果)	吉 田 猛 75
いちじくのネコブセンチュウに対するDBCP剤の防除効果	湯浅利光・大野敏郎・小倉政衛・高浜健三 76
桑のネコブセンチュウ(<i>Meloidogyne arenaria</i>)に対するDBCP剤の施用法について	斎藤 敬・呉羽好三・大槻 昭・小林和男・関谷一郎 77
苗木の線虫防除	石川元一・高野光之丞・村上正雄 78
殺線虫剤の小麦に対する薬害試験(続報)	織田一夫・高野誠義 79
前作物栽培末期の殺線虫剤処理による影響と効果	永沢 実・堀江典昭 80
ムギ類に対する殺線虫剤の影響について	高野光之丞・石川元一・村上正雄 81
殺線虫剤による土壌処理の肥効的效果(予報)	川田惣平・坪 存 82
殺線虫剤の低温時における効果について	広瀬健吉・伊藤喜隆 83